

**資料1-1 コロナを乗り越える日本再生宣言**

**<第2波への備え>**

**(知見の収集・分析・共有)**

- ・ 今回の新型コロナウイルスは非常に分からないことが多くございまして、人と人との接触を8割減らせば感染が収束していくというマクロの理論は分かるのですが、今まで、今回国内で発生したルートですとか、院内感染、家庭内感染等、どういう事例で、どういう感染が起こったのかと、実はそれを行動の自粛とか施設の使用制限を再度出す場合に結び付けられれば、我々も非常に説明責任を果たしやすいと思っておりますので、そうした観点からの第1波の分析を全国レベルでやっていただいて、お示しいただければありがたい。

**(通常医療との兼ね合い)**

- ・ 京都も20日連続で新規の陽性者がゼロでございしますが、救急救命とか手術、透析等の通常医療が停滞しておりまして、この機に少し通常医療体制に戻そうということで取り組むことにしておりますけれども、再度の感染拡大に至った時に、こういったタイミングで新型コロナウイルス感染症の体制に再度戻すのかというところを、非常に医療関係者からも相談を受けておりまして、それも先ほどの話ともつながるのですが、そのあたりについての考え方も是非示していただければと思いますし、他府県の状況も勉強させていただければと思います。

**<社会経済活動>**

**(緊急雇用創出事業)**

- ・ リーマンショックの時に設けられました「緊急雇用創出事業」、これは需要創出という意味においては非常に効果があったと思っております。雇用の統計の数値というのは非常に遅れて出てきますけれども、さすがにこここのところ非常に悪い数値が出てきておりますので、是非とも政府の第2次補正予算には入っていなかったのですが、「緊急雇用創出事業」の創出を。しかも対象者を在職者に拡大をするとか、前は年度間をまたいだ運用ができなかったもので、それも可能となるような基金制度等のようなものを活用した、よりバージョンアップした形での「緊急雇用創出事業」の創出を是非ともよろしく願いたい。

**(観光振興)**

- ・ 「観光」について、京都はもともと人を惹きつけるところでございましたけれども、「観光」というのは、とりもなおさず人が動くということなので、この間ピタッと止まっておりましてけれども、いよいよ府内の観光、それから6月19日以降は都道府県をまたいだ「観光振興」に努めたいと思っております。私の感じとしては一番重要なのは、「感染予防対策についての安心感」が「観光」についての基盤であると思っておりますので、我々は各施設・業界についても万全を期すようお願いをしております。そうした点を訴えていくということで、「観光振興」は京都だけではないと思っておりますけれども、やはり「感染予防対策が万全だ」ということを訴えていくことが、まずは「観光振興」のベースだと考えておりますので、引き続きの御協力をよろしく願いたい。

### **資料 6 - 3 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた将来世代への支援に係る緊急提言等**

- ・ 今回の新型コロナウイルス感染症の影響というのは、まず出産の不安を抱える妊婦さんの問題、それから学校の臨時休業に伴って非常に保護者の方が大変だったと。また、親世代の収入減というような、全てが少子化の方にベクトルを向かせるような影響が非常にたくさん出ております。まとめていただいた提言、非常に幅広く丁寧に拾っていただきましたけれども、全体としては、全ての施策を総動員して、社会全体で子育てを応援していかないと少子化の流れが止まらないのではないかと思っております、是非ともそうした視点から今後とも取り組ませていただきたいし、御協力をお願いしたい。

### **資料 10 防災・減災、国土強靱化対策の抜本強化と地方創生回廊の構築 提言**

- ・ 今回、過度な人口の集中による感染リスクへの脆弱性が明らかになったということと、併せて、テレワークとかオンラインが急速に普及して、ビジネス面でも地方分散できる環境が整ったということでもあります。それは確かにそうなのですが、これから国土政策を議論していく上で、バーチャルなネットワークとか、テレワーク、オンライン会議も重要ですが、それだけの普及で終わらせてしまうと抜本的な国土構造の改革につながらないと思っております、例えば、物流・人流を含めたリアルなネットワークですとか、大学等の高等教育、研究機関、企業等の地方分散という、バーチャルと併せてリアルな国土政策も議論しないと、真の「国土強靱化」にはつながらないと思いますので、今後ともそうした方向での議論を是非ともよろしくお願いしたい。